

「聖霊1－約束の聖霊」

テーマ 聖霊の約束

タイトル 約束の聖霊

テキスト

ヨハネ 14:16-18、26、15:26、16:8、

14:16 わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。

14:17 その方は、真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられるからです。

14:18 わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。わたしは、あなたがたのところに戻って来るのです。

14:19 いましばらくで世はもうわたしを見なくなります。しかし、あなたがたはわたしを見ます。わたしが生きるので、あなたがたも生きるからです。

14:26 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。

15:26 わたしが父のみもとからあなたがたにつかわそうとしている助け主、すなわち、父のみもとから来る真理の御霊が下る時、それはわたしについてあかしをするであろう。

16:8 その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世にその誤りを認めさせます。

使徒行伝 1:8 ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。

導入

イエス様は天に帰られる時、弟子たちにすばらしい約束をされました。それは「聖霊を与えよう」ということでした。今日、私たちは聖霊について3つのことを学びたいと思います。聖霊は私たちを助けるために おくられた方であり、また私たちが受け入れるならば、私たちの内に住んで下さるお方なのです。

1 約束の聖霊は助け主です (ヨハネ14:16)

A. イエス様は「もう一人の助け主」をおくと約束して下さいました

イエス様は十字架にかけられる前、とても大切なことを弟子たちに語られました。それは、ご自分が天に帰ったならば、「もう一人の助け主」をおくと約束されたのです。この助け主とは「聖霊」のことです。

B. 「助け主」は、わたしたちが助けを必要としているときに助けて下さいます

たとえば、道路で倒れて困っている人がいたとします。いまならば119番に電話をすると、救急車が来て、助けてもらえます。助けを求めている人を助けるために、救急隊員はすぐに来てくれるのです。このように聖霊は、わたしたちが助けを必要としている時に助けて下さる『助け主』だということです。

また、裁判の時にその弁護をしてもらうため、弁護士が必要です。自分だけではとても大変だからです。弁護士は自分のことを、いろいろな角度から弁護して助けてくれるのです。それと同じように聖霊は、わたしたちが大変な時に弁護をして下さる『助け主』だということです。

C. 「助け主」は、いつもそばにいて助けて下さいます

わたしたちが、落ち込んだ時や、苦しみの時、悲しい時にいつも励ましたり慰めたりして、わたしたちの相談にのって助けて下さる『助け主』なのです。

聖霊はいつもあなたの「そばにいて助けて下さるお方」です。

2 約束の聖霊は真理を教えて下さいます (ヨハネ14:17)

A. 約束の聖霊は、「真理の御霊」です

イエス様は助け主である聖霊を「真理の御霊」とも呼ばれました。真理の御霊は、イエス様の語られた言葉や、聖書の言葉の意味をわからせてくれます。

B. 真理の御霊は、聖書の言葉の意味をわからせて下さいます

いままでずっと考えてもわからなかった聖書のことばがわかるという経験ができます。聖霊は聖書を教えてくださる最高の先生です。

C. 真理の御霊は、罪を示しイエス様を信じる信仰へと導いて下さいます

また、真理の御霊は、わたしたちと神様との正しい関係について教えて下さり、わたしたちの心の目を開いてくださいます。そして神様を抜きにして物事を考えてしまう、自分中心的な考え方を悔い改めさせてくださいます。そして神様を中心にした考え方を教えて下さり、導き入れてくださるのです。神様を中心と考えずに、自分中心に考えることを罪といます。聖霊はこの罪をわたしたちに示し、思いをかえさせてくださいます。そしてイエスキリストの十字架の血による赦しを信じる信仰へと導いてくださるのです。

3 約束の聖霊は力を与えて下さいます（使徒1：8）

A. 約束の聖霊は、イエス様のことを大胆に語るができるようにして下さい

使徒1：8「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける」とあります。聖霊が臨まれる時、力を受けて、わたしたちは復活の主の証人となる。というのです。

あるところに、真理子ちゃんという小学生の女の子がいました。真理子ちゃんには敬子ちゃんという、仲良しのお友達がいました。

ある日、真理子ちゃんと敬子ちゃんはブランコに座って話をしていました。真理子ちゃんは『自分がイエス様を信じていることを話したい』と思いましたが、笑われるのではないかとやめてしまいました。一日、二日、三日とたちました。真理子ちゃんは、まだ敬子ちゃんにイエス様の事を話していません。そこである日曜日、真理子ちゃんは日曜学校の先生に言いました。「先生、私はお友だちにイエス様の事をお話したくて仕方がないのです。でもいつも、いざとなると、こわくなってしまいます」。すると先生は「もし、あなたがイエス様に聖霊のバプテスマを下さいとお祈りするなら、神様は聖霊を下さいます。そうすれば、イエス様のお話をするのがこわくなくなるでしょう。聖霊は、あなたがもっとイエス様を愛することが出来るようにして下さいますから、イエス様の事をもっと人々に話したくなるでしょう。そして楽しくお話出来るようになるでしょう」と答えられました。真理子ちゃんはイエス様にお祈りして、聖霊を下さいと一生けんめい求めました。神様は真理子ちゃんに聖霊を与えて下さいました。真理子さんは敬子ちゃんにイエス様のお話をしました。それはむずかしい事ではありませんでした。聖霊が助けて下さったからです。